



麺のエキスパートから総合食品メーカーへ

有限会社石倉製麺所

環境経営レポート

有限会社石倉製麺所

2023 年度

(対象期間 2023 年4月1日～ 2024 年3月31日)



®環境省

エコアクション21
認証番号 0013988



石倉麺

発行日： 2024年5月13日

更新日： 2024年10月3日

目 次

項 目	
1, ごあいさつ	3頁
2, 環境経営方針	3頁
3, 事業・製品の紹介	4頁
4, 組織の概要	5頁
5, 環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5頁
6, 主な環境負荷の実績	6頁
7, 環境経営目標及びその実績	6頁
8, 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組計画	7頁
9, 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	10頁
10, 代表者による全体の評価と見直し・指示	11頁

石倉製麺所は社是である「きれいな麺」「おいしい麺」を旗印に100年を超える時を歩んできました。

創業当時から良い製品を創り出すことに邁進し、お客様からの声に耳を傾け、ニーズに応じた製品を提供し続けてきたことで現在の姿に成長することができたと考えています。

今後も麺という基本を守りつつ時代の変化に対応をした商品をつくり上げるという努力を継続しエコアクション21の活動を通じて食資源の有効活用と環境保全に取り組み、持続可能な社会の構築に貢献をする最善の商品作りのさらなる飛躍を目指します。

環境経営方針

環境経営理念

弊社は食の安心・安全を最優先事項とすると共に法令遵守を企業理念としております。

本業の食品の生産を通じて気候変動等地球規模の問題や地域の課題の解決に向けて自主的・積極的に取り組みます。

安心・安全な製品をお客様に届けるため働きやすい職場づくりを進める中で、創意工夫による衛生管理の徹底と効率的な生産を目指して、全従業員が一丸となって継続的な改善活動に取り組んでまいります。

環境保全への行動指針

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄ロスをなくす等廃棄物の発生抑制につとめ、食品リサイクル率の維持向上に努めます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 洗浄剤や殺菌剤などの適正管理に努めます。
6. 安心で安全な商品を効率よくタイムリーにお客様にお届けします。
7. 全従業員への環境経営方針の理解と周知を行い環境保全の意識の高揚を図ります。
8. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

制定日：2023年1月1日

改定日：2023年7月28日

代表取締役社長 石倉 悟

組 織 の 概 要

更新日：2024年9月15日

(1) 名称及び代表者名
有限会社石倉製麺所
代表取締役 石倉 悟

(2) 所在地
本社 新潟県上越市南本町3-7-9
第二工場 新潟県上越市大字寺町10-1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 第二工場長 関沢 法子 第二工場 TEL：025-523-2122
担当者 製造課 武田 唯征 第二工場 TEL：025-523-2122

(4) 事業内容
麺類の企画・開発・製造

(5) 事業の規模

	本社	第二工場
従業員 名	11 名	284 名
延べ床面積 m ²	744 m ²	14,522 m ²

(6) 事業年度 7 月 1 日 ~ 6 月 30 日
活動期間 4 月 1 日 ~ 3 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

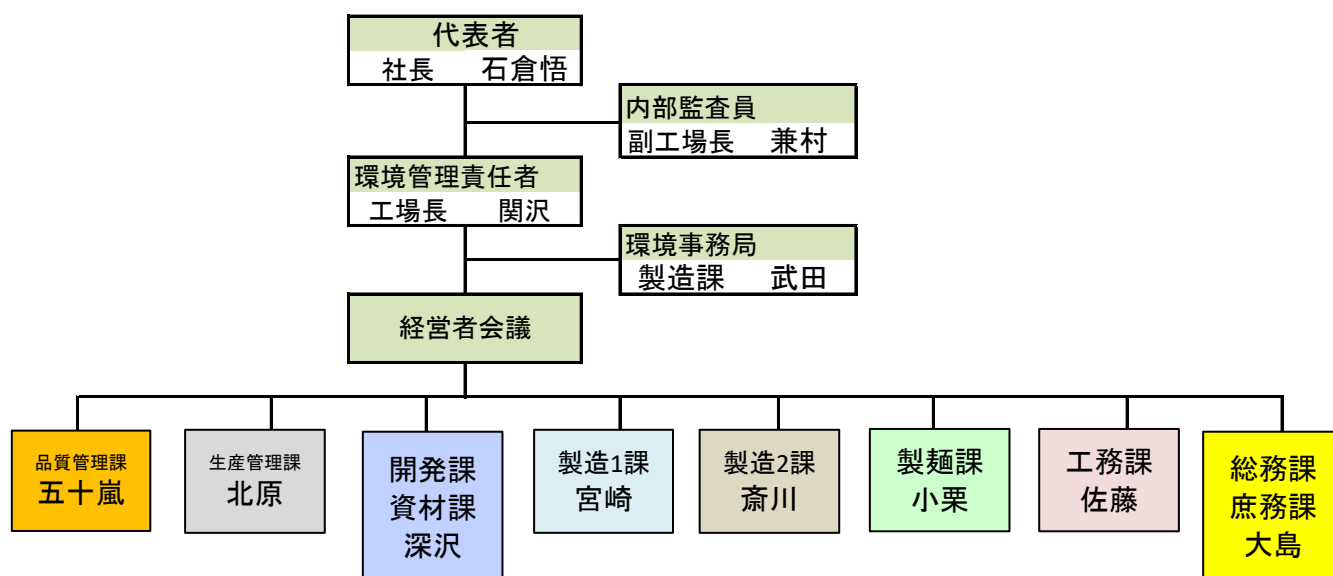
登録組織名： 有限会社石倉製麺所
対象事業所： 第二工場
段階認証： 本社(2026年までに登録認証予定)
活動： 麺類の企画・開発・製造

□事業や製品(商品)の紹介

コンビニエンスストア向け麺類の企画・開発・製造
学校給食向け麺類の製造
量販店向けの麺類の企画・開発・製造



環境経営組織及び役割・責任・権限



全従業員	
対象者	役割・責任・権限
代表者(社長)	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営の実施体制の構築 - 経営における課題とチャンス明確化 - 環境経営方針の策定と見直し - 環境経営目標と環境経営計画書の承認 - 全体の評価と見直し・指示 - 環境経営レポートの承認 - 経営者会議の招集
環境管理責任者	- 環境に関する実行責任者 - 環境経営の実施と管理 - 環境活動の取組結果を代表者への報告 - 環境経営目標と環境経営計画書の確認 - 環境経営レポートの確認 - 環境関連法規等取りまとめ表の遵守評価と承認 - 環境上の緊急事態対応手順書の承認
環境事務局	- 環境管理責任者の補佐と会議の事務局 - 環境活動の各種帳票の作成と実績の集計 - 環境経営目標と環境経営計画書案の作成 - 環境経営レポートの作成と公開 - 環境関連法規等の取りまとめ表の作成及び最新版の管理 - 環境関連の内部および外部のコミュニケーションの窓口 - 環境上の緊急事態対応手順書の作成
経営者会議	- 環境経営計画の審議 - 環境活動の実績を確認と評価 - 問題点の是正または予防の策定と指示
各部門担当者	- 環境経営方針の周知 - 従業員に対する教育訓練の実施 - 環境経営計画達成に向けた取組の実施と報告 - 環境関連法規等の遵守への取組を実施 - 環境上の緊急事態対応の訓練または試行の実施および記録 - 問題点の是正または予防の実施
全従業員	- 環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 - 決められた事を守り、自主的に積極的に環境活動への参加
内部監査員	- 環境に関する内部監査の計画と実施 - 環境に関する内部監査結果の報告

主な環境負荷の実績

項 目	単位		2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂		4,400,286	4,395,624
廃棄物排出量	kg			
産業廃棄物排出量			626,025	390,815
食品廃棄物	kg			
発生量			98,384	66,635
発生抑制量			0	0
再生利用量			96,549	65,099
熱回収量			0	0
減量量			0	0
再生利用以外の量			0	0
廃棄物処理量			1,835	1,536
食品再資源化実施率	%		98%	98%
水使用量	m ³		115,480	123,000

※二酸化炭素排出係数：2022年度のデータは東北電力(株)の2022年度の調整後の係数0.488kg-CO₂/kWh

※2023年度以降のデータは東北電力(株)の2023年度の調整後の排出係数0.477kg-CO₂/kWhを利用しています。

※二酸化炭素総排出量にはLPGと重油も含む

環境経営目標及びその実績

年 度		2022年度	2023年度		評 価	2024年度	2025年度
項 目		(基準値)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kWh	3,581,469	3,545,654	3,679,910	×	3,509,840	3,474,025
	基準年度比		99.0%	102.7%		98.0%	97.0%
売上高原単位	kWh/百万円	664.0	657.3	684.5	×	650.7	644.1
	kg-CO ₂	1,747,757	1,730,279	1,755,317	×	1,712,802	1,695,324
原単位	基準年度比		99.0%	100.4%		98.0%	97.0%
	kg-CO ₂ /百万円	324.019	320.779	326.506	×	317.538	314.298
都市ガスによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂	2,006,567	1,986,501	2,022,803	×	1,966,435	1,946,370
	基準年度比		99.0%	100.8%		98.0%	97.0%
原単位	kg-CO ₂ /百万円	372.000	368.280	376.261	×	364.560	360.840
	kg-CO ₂	3,754,323	3,716,780	3,778,120		3,679,237	3,641,694
上記二酸化炭素排出量合計							
廃プラの削減	kg	1,169	1,157	1,120	○	1,146	1,134
	基準年度比		99.0%	95.8%		98.0%	97.0%
食品廃棄物の発生抑制・再生利用率の向上	自主目標		95%	98%	○	95%	95%
	食り法目標	50%	51%	98%	○	52%	53%
基準発生原単位	kg/百万円	192.0	192.0	12.4	○	192.0	192.0
	発生抑制の目標値						
使用水の削減	m ³	115,480	114,325	123,000	×	113,170	112,016
	基準年度比		99.0%	106.5%		98.0%	97.0%
原単位	m ³ /百万円	20.113	19.912	21.583	×	19.711	19.510
化学物質の適正管理		行動目標（次項による）					
環境に配慮した製品・サービスへの取組		行動目標（次項による）					

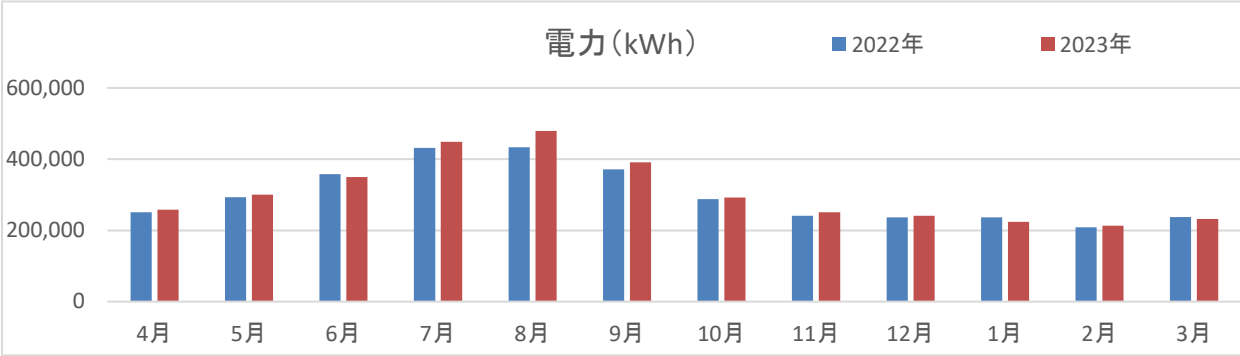
※食品廃棄物の発生抑制・再生利用率の向上に関する目標（リサイクル率）は食品リサイクル法に基づき通年の取組であり全期間を活動期間として評価する

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

数値目標:○達成 ×未達成
活動:○よくできた △まあまあできた ×できなかった

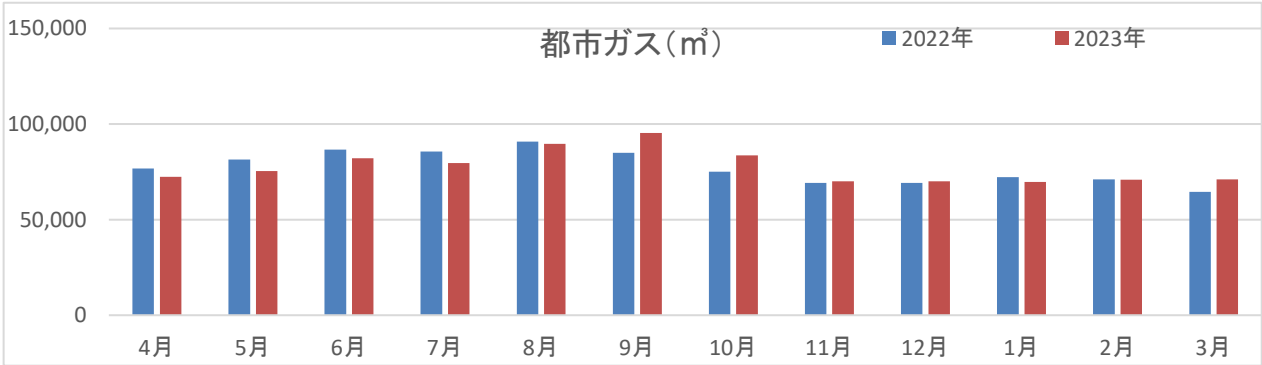
取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価
--------	------	-----------

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
■数値目標	×	■評価
・室温の適温化を徹底(冷房28℃暖房20℃)	○	昨対比2.7%増 目標未達
・エネルギー効率の高いエアコンへ更新(3台)	○	慢性的に使用量が過多であった。
		■次年度
		工場の稼働率を上げるため製造体制の見直しをする。



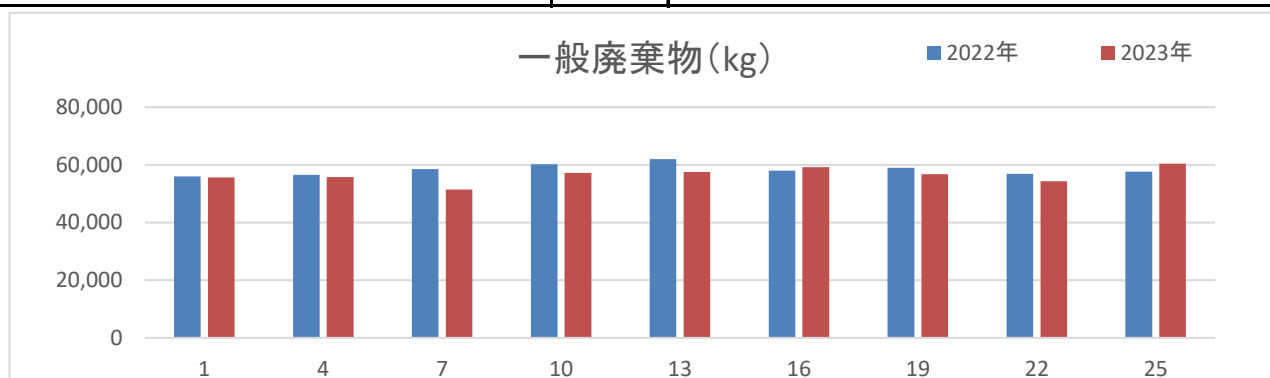
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	250,763	293,407	357,635	431,291	433,373	371,302	287,863	241,091	236,124	236,124	208,521	237,485
2023年	257,832	300,503	350,024	448,706	479,257	391,489	291,981	250,498	240,682	223,519	213,225	232,194

都市ガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
■数値目標	×	■評価
・ガスボイラーを優先的に使用する	○	昨対比0.8%増
・蒸気配管の蒸気漏れの点検	○	都市ガスとA重油の合算でco2排出量が1.4%の削減が出来てる。
		■次年度
		都市ガスボイラの優先的な使用を継続をする。
		実際の運用に即した評価へ変更する。



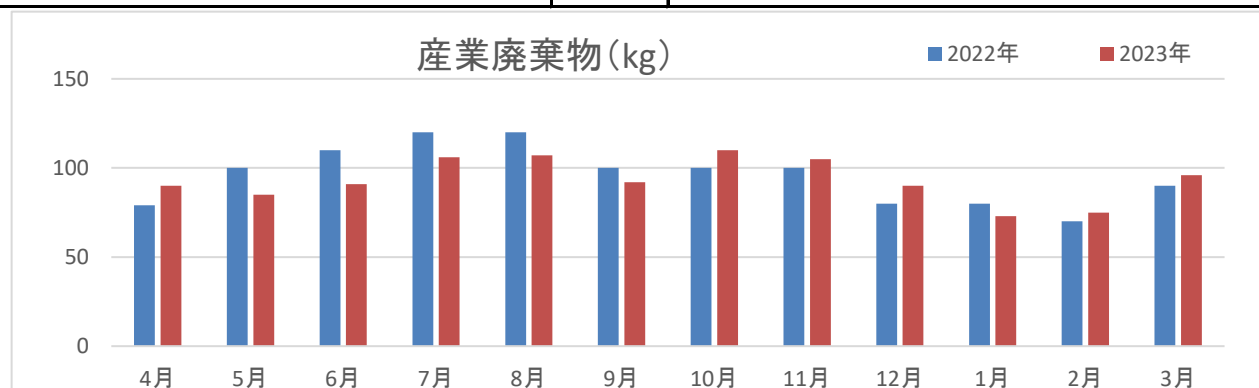
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	76,775	81,390	86,678	85,649	90,748	84,990	75,120	69,202	69,202	72,300	71,104	64,489
2023年	72,337	75,468	82,133	79,604	89,563	95,375	83,628	69,985	69,985	69,779	70,900	71,017

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	・評価 昨対比4.0%減 目標達成 ・次年度 取組を継続する。
・現状の把握と削減方法の検討	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	56,000	56,500	58,500	60,200	62,000	58,000	59,000	56,900	57,600	57,600	51,800	58,500
2023年	55,600	55,800	51,400	57,200	57,500	59,200	56,800	54,300	60,400	55,000	49,700	52,900

廃プラの削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
■数値目標	○	■評価 昨対比4.2%減 目標達成 ■次年度 不良在庫の削減を継続する。
・在庫管理の強化による不良在庫の廃棄削減	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	79	100	110	120	120	100	100	100	80	80	70	90
2023年	90	85	91	106	107	92	110	105	90	73	75	96

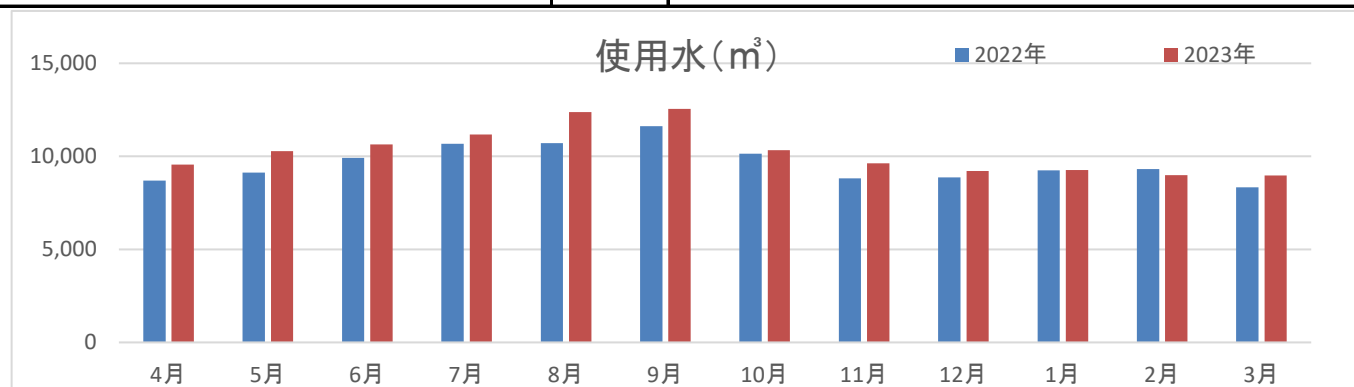
食品廃棄物の発生抑制・再生利用率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
■数値目標	○	■評価 目標達成 ■次年度 取組を継続する。
・生産数量の精度の向上	○	
・作業ミスによるロスの削減	○	
・3S（整理・整頓・清掃）活動の徹底	○	
・在庫管理の強化による不良在庫削減	○	



再資源化実施率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	97.7%	98.0%	97.9%	97.1%	98.6%	96.9%	97.5%	95.8%	97.8%	97.1%	98.5%	98.7%

使用水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	■評価 昨対比6.5%増 目標未達 慢性的に使用量が過多であった。
・節水ポスターの掲示	○	■次年度 設備の運用方法の見直しをする。
・使用方法の従業員教育	△	
・水配管の漏れの点検	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	8,700	9,134	9,921	10,677	10,711	11,614	10,150	8,819	8,873	9,245	9,308	8,328
2023年	9,555	10,286	10,643	11,173	12,380	12,552	10,330	9,631	9,217	9,268	8,985	8,980

化学物質の適正管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・P R T R物質の把握・記録・管理	○	■評価 調査を実施して各薬剤のSDSの確認を行っていた。
		■次年度 継続して把握・記録・管理を行う。



環境に配慮した製品・サービスへの取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
①QCS管理システムの試験運用・DX構築	△	■評価 ①試験運用の体制は構築できたが従業員への教育不足のため運用を十分に行えなかったため。
②簡易包装(トップフィルム)の検討	○	②生産ラインの6機中1機で運用を行い販売を開始。
③顧客クレーム削減「年平均25ppm以下」	○	③顧客クレーム削減 年平均25ppm以下を達成。
		■次年度 ①指導、教育をして運用を行う また他部署への水平展開へも取り組む。
		②簡易包装を使用した商品の拡大を検討する。
		③クレーム削減の活動を継続する。



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（動植物性残さ、廃プラ、汚泥、廃油等）
食品リサイクル法	食品廃棄物
容器包装リサイクル法	容器包装
騒音規制法	空気圧縮機、送風機
振動規制法	空気圧縮機
水質汚濁防止法	煮湯設備、洗浄設備
浄化槽法	浄化槽
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機、冷凍庫、冷蔵庫
新潟県生活環境の保全等に関する条例	揚水設備（地下水）
上越市生活環境の保全等に関する条例	油水分離設備、し尿浄化槽、ボイラー
省エネ法	特定事業所

※環境関連法規制等の遵守状況を自主評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等はありませんでした。

※食品リサイクル法の事業者ごとの基準実施率は達成しています。

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定：火災の発生

■実施日： 2023/6/21

■参加者： 日勤勤務者および夜勤勤務者

■実施内容： ☒ 通報訓練 ☐ 消火訓練 ☒ 避難訓練
日勤勤務時間帯と夜勤勤務時間帯で分けて実施をした。

■評価： 手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし

■実施状況の様子



代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年5月1日

■2023年度において、EA21の取り組みを通じて環境改善活動を進めてまいりました。
年度の途中ではありますがEA21の登録認証の手続きを無事に終えることが出来ました。

■都市ガスとA重油の使用割合を見直す事でCO2排出量を枠対比で1.4%の削減がすることができました。
しかし、電力消費量と使用水量の削減に対しては目標を達成をする事が出来なかったため計画的に対策を実施する。

■特に従業員の意識向上が重要なポイントとなるため注力をする。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり 実績を踏まえて見直すこと
実施体制他	☒ 変更なし	☐ 変更あり
その他	☒ 変更が必要な要項は認められなかった	☐ 変更あり

Eco action 21

Environmental management activity board

□Greeting

Ishikura Seimenjo has been working for more than 100 years under the motto of "clean noodles" and "delicious noodles".

Since our founding, we have strived to create quality products, listened to our customers, and continued to provide products that meet their needs.

We will continue our efforts to create products that respond to the changing times while preserving the basics of noodles, and through our Eco Action 21 activities, we will work to effectively utilize food resources and preserve the environment, contributing to the creation of a sustainable society. We aim to make further progress in creating the best products possible.

Environmental management policy

Environmental Management Philosophy

Our company makes food safety and security our top priority, and our corporate philosophy is to comply with laws and regulations.

We will independently and proactively work towards solving global and local issues such as climate change through our main business of food production.

While promoting the creation of a comfortable workplace to deliver safe and secure products to our customers, all employees are united in continuous improvement activities with the aim of thorough hygiene management and efficient production through creativity and ingenuity.

Action guidelines for environmental conservation

- 1 . We will comply with environmental laws and regulations and our company's promises
- 2 . We strive to reduce carbon dioxide emissions by saving energy through creativity and ingenuity.
- 3 . We will work to reduce waste generation by eliminating waste loss, and strive to maintain and improve food recycling rate
- 4 . We strive to reduce water usage through proper use.
- 5 . We strive to properly manage cleaning agents, disinfectants, etc.
- 6 . We deliver safe and secure products to customers efficiently and in a timely manner
- 7 . We will raise awareness of environmental conservation by making all employees understand and familiarize themselves with our environmental policy.
- 8 . We actively participate in environmental activities of local communities and related organizations.

Date of enactment: 2023. 1. 1

Representative Director and President Ishikura Satoru

Eco-Action 21

Board ng Aktibidad sa Pamamahala ng

☐Pagbati

Ang Ishikura Noodle Factory ay higit ng 100 taon ang operasyon sa ilalim ng motto ng kumpanya na "malinis na pansit" at "masarap na pansit."

Naniniwala kami na nagawa naming lumago sa aming kasalukuyang posisyon sa pamamagitan ng pagsusumikap na lumikha ng magagandang produkto simula noong aming pagkakatatag, pakikinig sa mga boses ng aming mga customer, at patuloy na pagbibigay ng mga produkto na nakakatugon sa kanilang mga pangangailangan.

Ipagpapatuloy namin ang aming mga pagsisikap na lumikha ng mga produkto na tumutugon sa mga pagbabago ng panahon habang sumusunod sa mga pangunahing kaalaman ng noodles, at sa pamamagitan ng aming mga aktibidad sa Eco Action 21, magsusumikap kaming epektibong magamit ang mga mapagkukunan ng pagkain at protektahan ang kapaligiran, na naglalayong gumawa ng higit pang mga hakbang sa paglikha ng pinakamahusay na posibleng mga produkto na nag-aambag sa pagbuo ng isang napapanatiling lipunan.

Patakaran sa Pamamahala ng Kapaligiran

Pilosopiya ng Pangangasiwa sa Kapaligiran

Ang aming pilosopiya ng kumpanya ay ilagay ang pinakamataas na prioridad sa kaligtasan at seguridad sa pagkain pati na rin ang pagsunod sa mga batas at regulasyon.

Sa pamamagitan ng aming pangunahing negosyo ng produksyon ng pagkain, kami ay kusang-loob at aktibong magsisikap upang malutas ang mga pandaigdigang at lokal na isyu tulad ng pagbabago ng klima.

Habang isinusulong namin ang paglikha ng isang komportableng lugar ng trabaho upang maghatid ng ligtas at maaasahang mga produkto sa aming mga customer, lahat ng aming mga empleyado ay magtutulungan sa patuloy na mga aktibidad sa pagpapahusay upang makamit ang masusing pamamahala sa kalinisan at mahusay na produksyon sa pamamagitan ng mga malikhaing ideya.

Mga Alituntunin sa Pagkilos para sa Pangangalaga sa Kapaligiran

- 1 . Susundin namin ang mga batas at regulasyong pangkapaligiran at sa aming mga pangako.
- 2 . Sisikapin namin bawasan ang mga emisyon ng carbon dioxide sa pamamagitan ng malikhaing pagtitipid ng enerhiya.
- 3 . Sisikapin namin bawasan ang basura sa pamamagitan ng pag-aalis ng mga pagkalugi sa pagtatapon, at panatilihin at pabutihin ang rate ng pag-recycle ng pagkain.
- 4 . Sisikapin namin bawasan ang pagkonsumo ng tubig sa pamamagitan ng angkop na paggamit.
- 5 . Sisikapin namin ang wastong pamamahala ng mga cleaning agents at mga disinfectant.
- 6 . Maghahatid ng ligtas at siguradong produkto sa mga customer sa paraan na mahusay at tamang oras..
- 7 . Itataas namin ang kamalayan sa pangangalaga sa kapaligiran sa pamamagitan ng pagtiyak na naiintindihan at nalalaman ng lahat ng empleyado ang ating patakaran sa pamamahala sa kapaligiran.
- 8 . Aktibong lalahok sa mga aktibidad na pangkapaligiran ng mga lokal na komunidad at mga kaugnay na organisasyon.

Petsa ng pagsasabatas : Enero 1, 2023

Pinatawan Direktor at Pangulo Ishikura Satoru

タガログ語

ECO ACTION 21

BAN HOẠT ĐỘNG QUẢN LÝ MÔI TRƯỜNG

□Lời chào hỏi

Công ty Ishikura Seimensho đã hoạt động hơn 100 năm với phương châm 「Mì sạch」 và 「Mì ngon」 . Kể từ khi thành lập, chúng tôi đã nỗ lực tạo ra những sản phẩm tốt, lắng nghe tiếng nói của khách hàng và tiếp tục cung cấp những sản phẩm đáp ứng nhu cầu của họ. Chúng tôi sẽ tiếp tục nỗ lực để tạo ra những sản phẩm đáp ứng thời đại thay đổi trong khi vẫn duy trì những di sản cơ bản của sợi mì và thông qua các hoạt động của Eco Action 21, chúng tôi sẽ nỗ lực sử dụng hiệu quả nguồn thực phẩm và bảo vệ môi trường, đồng thời góp phần xây dựng một nền kinh tế bền vững. Chúng tôi mong muốn tạo ra một bước nhảy vọt hơn nữa trong việc tạo ra những sản phẩm tốt nhất.

Phương châm quản lý môi trường

Triết lý quản lý môi trường

Triết lý doanh nghiệp của chúng tôi là tuân thủ luật pháp và quy định đồng thời ưu tiên hàng đầu cho sự an tâm

và an toàn của bữa ăn.

Tự chủ và tích cực làm việc để giải quyết các vấn đề toàn cầu như biến đổi khí hậu và các vấn đề địa phương thông qua hoạt động kinh doanh chính của chúng tôi là sản xuất thực phẩm.

Trong việc nâng cao tạo ra nơi làm việc thoải mái để cung cấp các sản phẩm an toàn và đảm bảo cho khách hàng của chúng tôi, tất cả nhân viên đều đoàn kết trong các hoạt động cải tiến liên tục nhằm mục đích quản lý vệ sinh kỹ

lưỡng và sản xuất hiệu quả thông qua sự sáng tạo và khéo léo.

Hướng dẫn hành động bảo vệ môi trường

- 1 . Tuân thủ các cam kết của công ty về quy luật và quy định liên quan đến môi trường.
- 2 . Cố gắng giảm lượng khí thải carbon dioxide dựa trên những sáng kiến khéo léo về tiết kiệm năng lượng.
- 3 . Cố gắng làm việc để giảm thiểu việc tạo ra chất thải, đồng thời cố gắng duy trì và cải thiện tỷ lệ tái chế thi
- 4 . Cố gắng sử dụng nước hợp lý để giảm tiêu thụ lượng nước.
- 5 . Cố gắng quản lý và sử dụng thích hợp chất tẩy rửa và chất khử trùng.
- 6 . Cung cấp các sản phẩm an toàn và bảo mật cho khách hàng một cách hiệu quả và kịp thời.
- 7 . Nâng cao nhận thức về bảo vệ môi trường thông qua việc cho tất cả nhân viên hiểu và làm quen với chính sách quản lý môi trường.
- 8 . Tích cực tham gia các hoạt động môi trường của cộng đồng tại địa phương và các tổ chức liên quan.

Ngày ban hành: ngày 1 tháng 1 năm 2023

Giám đốc

Ishikura Satoru

ဂေဟစနစ် 21

ပတ်ဝန်းကျင်စီမံခန့်ခွဲမှု လှုပ်ရှားမှုဘုတ်အဖွဲ့

□ နှုတ်ဆက်ခြင်း

Ishikura Seimenjo သည် "သန့်ရှင်းသောခေါက်ဆွဲ" နှင့် "အရသာရှိသောခေါက်ဆွဲ" ဟူသောဆောင်ပုဒ်အောက်တွင်နှစ်ပေါင်း ၁၀၀ကျော်တိုင်အောင် လျှောက်လှမ်းခဲ့ပြီးဖြစ်ပါသည်။

စတင်တည်ထောင်ချိန်မှစ၍ ကောင်းမွန်သောထုတ်ကုန်များဖန်တီးရန် ၊ စားသုံးသူများ၏အသံကိုနားထောင်ပြီး ၎င်းတို့၏လိုအပ်ချက်များနှင့်ကိုက်ညီသော ထုတ်ကုန်များကို ဆက်လက်ပံ့ပိုးပေးနိုင်ရန် ကြိုးပမ်းခဲ့သည့်အတွက် ယခုအခြေအနေအထိ လျှောက်လှမ်းနိုင်ခဲ့ခြင်းဖြစ်ပါသည်။

အနာဂါတတွင်လည်း ခေါက်ဆွဲဆိုသည့်အခြေခံအချက်များကို ထိန်းသိမ်းပြီး ပြောင်းလဲလာသော ခေတ်နှင့်အညီ ထုတ်ကုန်များကို ဖန်တီးရန် ဆက်လက်ကြိုးပမ်းသွားမည်ဖြစ်ပြီး Eco Action 21 လှုပ်ရှားမှုများမှတစ်ဆင့် အစားအစာအရင်းအမြစ်များကို ထိရောက်စွာအသုံးပြုခြင်းနှင့် သဘာဝပတ်ဝန်းကျင် ထိန်းသိမ်းရေးတို့ကို ပံ့ပိုးပေးသွားမည်ဖြစ်ပြီး၊ ရေရှည်တည်တံ့သော လူ့အဖွဲ့အစည်းကို တည်ဆောက်ရာတွင် အထောက်အကူဖြစ်စေသော အကောင်းဆုံးထုတ်ကုန်များ ဖန်တီးပြီးရေသို့ ဆက်လှမ်းသွားရန် ရည်ရွယ်ပါသည်။

ပတ်ဝန်းကျင်စီမံခန့်ခွဲမှုမူဝါဒ

ပတ်ဝန်းကျင်စီမံခန့်ခွဲမှုဒဿန

ကျွန်ုပ်တို့ကုမ္ပဏီသည် အစားအသောက် ဘေးကင်းရေးနှင့် လုံခြုံရေးကို ဦးစားပေးဆောင်ရွက်နေသည်နှင့်တပြိုင်နက် ဥပဒေများနှင့် စည်းမျဉ်းများကို လိုက်နာရန်သည် ကုမ္ပဏီ၏ရည်ရွယ်ချက်ဖြစ်သည်။

ကျွန်ုပ်တို့၏ အဓိကစားသောက်ကုန်ထုတ်လုပ်မှုလုပ်ငန်းမှတစ်ဆင့် ရာသီဥတုပြောင်းလဲမှုနှင့် ဒေသတွင်းပြဿနာများကဲ့သို့သော ကမ္ဘာလုံးဆိုင်ရာပြဿနာများကို ဖြေရှင်းရန် ဆန္ဒအလျောက် တက်ကြွစွာ လုပ်ဆောင်သွားပါမည်။

စားသုံးသူများထံ ဘေးကင်းလုံခြုံသော ထုတ်ကုန်များ ပေးပို့ရန် သက်တောင့်သက်သာရှိသော လုပ်ငန်းခွင်တစ်ခု ဖန်တီးခြင်းကို မြှင့်တင်နေစဉ်တွင် ဝန်ထမ်းများအားလုံး စေ့စပ်သေချာစွာ တစ်ကိုယ်ရေသန့်ရှင်းမှု စီမံခန့်ခွဲမှုနှင့် တီထွင်ကြံဆမှုတို့ဖြင့် ထိရောက်သော ထုတ်လုပ်မှုကို ရည်ရွယ်၍ ဝန်ထမ်းများအားလုံး စဉ်ဆက်မပြတ် တိုးတက်မှုဆိုင်ရာ လှုပ်ရှားမှုများတွင် စည်းလုံးညီညွတ်စွာဖြင့် လုပ်ဆောင်နေပါသည်။

သဘာဝပတ်ဝန်းကျင် ထိန်းသိမ်းရေးအတွက် လုပ်ဆောင်မှု လမ်းညွှန်ချက်များ

- 1 . ပတ်ဝန်းကျင်ဆိုင်ရာ ဥပဒေများ၊ စည်းမျဉ်းများနှင့် ကုမ္ပဏီမှ ကတိကဝတ်ပြုထားသည့် အချက်များကို လိုက်နာပါမည်။
- 2 . စွမ်းအင်ထိန်းသိမ်းမှုမှတစ်ဆင့် ကာဗွန်ဒိုင်အောက်ဆိုက်ဓာတ်ငွေ့ထုတ်လွှတ်မှုကို လျှော့ချရန် ကြိုးပမ်းဆောင်ရွက်သွားပါမည်။
- 3 . စွန့်ပစ်ပစ္စည်းများ ဆုံးရှုံးမှုကို ဖယ်ရှားခြင်းကဲ့သို့သော စွန့်ပစ်ပစ္စည်းများ ထုတ်လုပ်မှုကို လျှော့ချရန်နှင့် အစားအစာ ပြန်လည်အသုံးပြုမှုနှုန်းကို ဆက်လက်ထိန်းသိမ်းရန်နှင့် မြှင့်တင်ရန် ကြိုးပမ်းဆောင်ရွက်သွားပါမည်။
- 4 . သင့်လျော်သောအသုံးပြုမှုဖြင့် ရေသုံးစွဲမှုကို လျှော့ချရန် ကြိုးပမ်းသွားပါမည်။
- 5 . ဆပ်ပြာများနှင့် ပိုးသတ်ဆေးများကို စနစ်တကျ စီမံခန့်ခွဲရန် ကြိုးစားသွားပါမည်။
- 6 . ဘေးကင်းလုံခြုံစိတ်ချရသော ထုတ်ကုန်များကို ထိထိရောက်ရောက်ဖြင့် အချိန်နှင့်တပြေးညီ စားသုံးသူများထံ ပေးပို့ပါမည်။
- 7 . ဝန်ထမ်းများအားလုံးကို ပတ်ဝန်းကျင်စီမံခန့်ခွဲမှုမူဝါဒကို နားလည်သဘောပေါက်ပြီး ရင်းနှီးအောင်ပြုလုပ်ခြင်းဖြင့် သဘာဝပတ်ဝန်းကျင်ထိန်းသိမ်းမှု အသိပညာကို မြှင့်တင်ပေးမည်ဖြစ်ပါသည်။
- 8 . ဒေသခံလူထုနှင့် ဆက်စပ်အဖွဲ့အစည်းများ၏ သဘာဝပတ်ဝန်းကျင်ဆိုင်ရာ လှုပ်ရှားမှုများတွင် တက်ကြွစွာ ပါဝင်ဆောင်ရွက်ပါမည်။

ခေတ်ပြုသည့်နေ့ : 2023 ခုနှစ် 1 လ 1 ရက်